

令和4年度

川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業 報告会

**認知症になっても
安心して暮らせる
まちにするために**



日時：令和5年3月15日（水）

午前10時30分～正午

会場 川西市みつなかホール

主催 川西市福祉部介護保険課

中央地域包括支援センター

プログラム

1. 開会あいさつ 川西市長 越田謙治郎

2. 発表

<地域の取り組み発表>

- 明峰地区キャラバン・メイト代表 松林美代子氏
『明峰地区で行なわれている認知症への取り組み』
- 川西北小地区キャラバン・メイト代表 駒井澄子氏
『これからの認知症カフェについて』

- 東谷地区福祉委員長 片峰純子氏
『認知症カフェ「ふらっと・b」の取り組みと今後について

～参加者の声を交えて～』

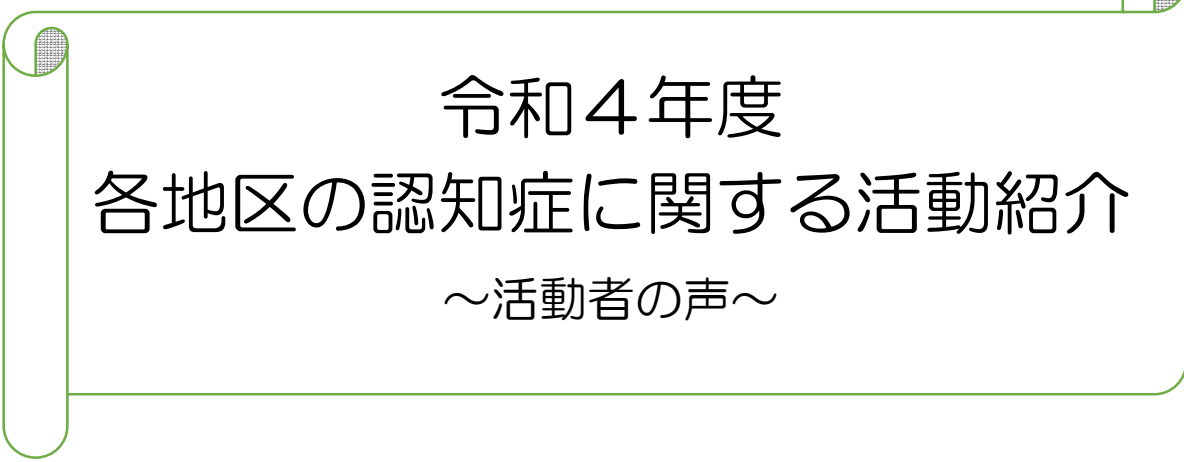
<事業所の取り組み>

- セブンイレブン店長 吉村 康宏氏
『誰でも安心してお買い物ができるようにするために』

3. 閉会あいさつ 川西市福祉部長 山本敏行

～ も く じ ～

令和4年度各地区の認知症に関する活動紹介	2～11
資料編	
川西市認知症地域資源ネットワーク構築事業報告	13
地域別(小学校区・地区福祉委員会)認知症高齢者の現状	14～16
川西市認知症行方不明者SOSネットワークの流れ	17
川西市認知症みまもり登録	18～19



令和4年度
各地区の認知症に関する活動紹介
～活動者の声～

明峰地区で行われている認知症への取り組み

令和4年12月

【明峰地区】

基礎的活動

【啓発・研修・企画・広報】

- ① キャラバンメイト連絡会(1回/月)
- ② 認知症サポーター養成講座開催
 - ・「たのみ隊」(3/24日) 23名参加
 - ・「安心サポート」(9/15日・29日) 51名参加



- ・ 鶯台自治会(11/5日) 24名参加
- ・ 阪急百貨店 7包括合同(12/1日)

③ 認知症行方不明者

SOS ネットワーク訓練

- ・ 「安心サポート」(11/17日) 15名参加
- ④ チームオレレンジ説明会 (7/26日)
- ⑤ キャラバンメイト増員(2名増員13名に)
- ⑥ 広報 (福祉委員会だよりに掲載2回/年)

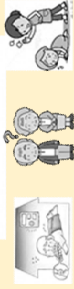
認知症予防

- ① 自治会単位に「いきいき元気倶楽部」
「いきいき百歳体操」開催
- ② 脳活倶楽部の自立グループが活動継続
(3グループ)

見守り活動

「安心サポート」

見守！ほっとかない！



- ① 顔の見える小地区単位毎の見守り・声掛け・専門職へのつなぎ・・・など
- ② サポーター120名(福祉委員、民生委員、民生協力委員他)
- ③ 小地区単位の定期連絡会
 - ・ 情報共有と役割分担
 - ・ 専門職(認知症地域推進支援推進員・社協コミュニティワーカー)の出席



《認知症の方への活動状況》

認知症又は懸念がある方の情報は小地区定期連絡会で毎回数件ある。ケース毎に専門職と相談しながら今後の見守り内容と担当を決めている。

居場所

「たんぽぽ」



- ① 自治会館など7か所で開催

《認知症の方への活動状況》

- ・ 本人又は家族の方が参加されている。
(2ヶ所3名、1名の方は若年性認知症)
- ・ 見守り活動などで誘い。

※新たに公園を利用した

“青空カフェ” (仮称)を

検討中



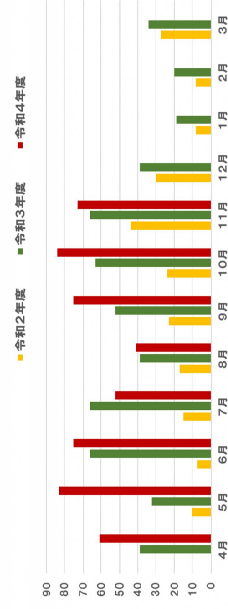
生活支援活動

「たのみ隊」



- ① 日常生活面におけるお困りごと支援
- ② 隊員数69名、活動件数平均60件/月

「たのみ隊」活動件数



《認知症の方への支援状況》

- ・ 依頼はケア会議、ケアマネジャー、民生委員ルートが多い。
- ・ 依頼内容は話し相手、ゴミ出し、掃除、庭の手入れなど
- ・ 高齢者夫婦でどちらかが認知症の事例が多い。
(今年度10数件)
- ・ 話し相手(2件)
- ・ 付添い
(1件あるもキャンセル)



認知症行方不明者 SOS

「明峰地域ネットワーク」を検討中

明峰地域の方が行方不明になった場合、迅速に地域内で捜索出来る仕組み

【北小地区】



ものわすれカフェについて

キャラバンメイト定例会と認知症カフェ「ものわすれカフェ」を、各々月1回開催しました。新しいキャラバンメイトの参入もありました。カフェについては【コロナ禍の中でこそ開催していきたい!】との思いで活動を続け、毎回多数の参加を得ることができました。認知症への正しい理解と、認知症になっても笑顔で暮らせる地域をめざして、これからも頑張りたいと思います。

メガネの三城で認知症カフェ開催

初めての試みで、地域にある眼鏡店「メガネの三城」での(小規模)認知症カフェを、年4回開催させていただくことになりました。お店の社会貢献という理解をいただき、地域資源として活用できたことは幸せでした。ゆったり落ち着いた雰囲気の中、心穏やかにお互いの顔を見ながら、日頃の思いが話せる居場所をめざします。今までのコミュニティプラザ萩原での「ものわすれカフェ」とは、また一味、趣の違う地域の居場所となりそうです。



これからの認知症カフェについて

以前から認知症カフェについての模索を続けてきましたが、カスタマーアンケートの要望欄に「認知症カフェへの場所提供のお願い」を書いたことから、新たなご縁が生まれ、新たなカフェ誕生につながりました。今後も、地域内の色々な施設や店舗または空き家などの利用を、理解と協力を得て、地域の我々が気軽に集える居場所となることを期待します。認知症になっても、明るく包み込んでもらえる居場所が川西市に一つでも多く生まれますように!!



【東谷小地区】

通って

認知症

が理解できる

カフェ

～ふらっと・b～

ふらっと立ち寄り参加できる！
みんな参加者！水平な関係！
いつもよりも、肩の力を抜いて参加できる♪



ピア・カウンセリング機能

同じ境遇の方同士
だからこそ「共感」がある



自分だけが悩んでいるのではないと、
ホッとすることも。

他者の介護の方法、
関わり方を見て学ぶことができる。



対話重視！

認知症の「人」ではなく、その「人」らしさを
理解することに重点をおいています。
相手のペースに合わせて、安心してお話し
してもらえるように心がけています。



認知症の方と話すことを意識するのではなく、まずは相手がどんな人なのか、
会話の中から、自然とお互いが分かり合えるような雰囲気づくりを目指しています。
認知症になってもその「人」らしさは失われないということが実感できるカフェでありたいです。
このカフェから、認知症への正しい理解が広まり、地域とつながる拠点となるよう企画運営に努めます。

【久代小地区】

今年度は新たにキャラバン・メイト 1 名が加わり 15 名。
久代新生会自治会対象とGパーク対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。
総合司会、講義、グループワークの司会進行とファシリテーション、会場の手配・準備、時間管理、等々すべてキャラバン・メイトが主体的に取り組んでいます。

そして、キャラバン・メイト会議で、認サポの打ち合わせから振り返りまで行い、次へのステップアップも目指しています。また、加茂小地区のキャラバン・メイトとの協力体制もバッチリです。来年度はコロナ禍で中止していた小学校への認サポに、新たなプログラムで取り組む予定です！！



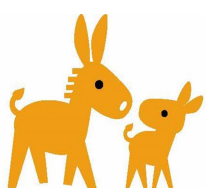
【加茂小地区】

今年度は、川西阪急百貨店対象、いこいの配食サービス対象(2回)、南花屋敷中央会館での“ひろばサロン”対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。

「“ひろばサロン”の参加者が高齢化！誰が認知症になってもおかしくない。だから皆で認知症の理解を深めよう！」と、ひろばサロン対象に開催しました。

そしてキャラバン・メイト会議では、認サポ後のエピソード(効果)の報告があり皆さんで共有しました。これって、認サポをやりっぱなしでなく、地域でその後のつながりが続いているからこそ得られることで、とても大事なことですね！！

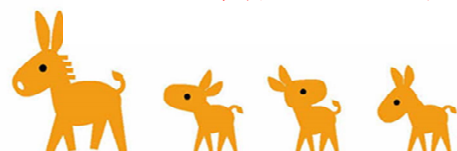
来年度は加茂小地区の他の3つの“ひろばサロン”でも、認サポを開催していく予定。また、地域ケア会議への参加も協力的！ つながりノート連絡会への積極的な参加を呼びかけ学びも深めていきます。



ふれあい

つながり

久代小地区キャラバン・メイトとの
つながりを大切にしています



【川小地区】

今年度は会議 3 回と川西小学校 PTA 対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。そして、新たにキャラバン・メイトも 1 名加わりました♪

会議では、チームオレンジの説明や包括による「認知症」の方の事例発表で学びを深めたり、認知症サポーター養成講座の役割分担を決めました。

川西小学校 PTA 対象の認知症サポーター養成講座では、キャラバン・メイトによる講義と寸劇を披露しました。寸劇では、認知症の方がゴミ出しした際の悪い対応と良い対応を行いました。寸劇はとても面白く皆さん女優さながらの演技を披露されていました。来年度コロナが落ち着いたら様々な活動をしていきたいと考えています。



【桜小地区】

昨年よりキャラバン・メイトの認知度を向上するために取り組んでいる、地区福祉委員会主催のサロンへの参加も継続し、地域住民との交流を図っています。

また今年度は、地域住民を対象にした認知症サポーター養成講座を開催しました。13名の住民が参加してくださり、認知症への理解や関心を高めることができました。

受講された方からは、認知症の方本人の気持ちを尊重することや寄り添うことを基本として接すること、地域で認知症の理解者を増やしていきたいという声をいただきました。

今後も地域との交流を深めながら、認知症の方が暮らしやすいまちづくりに貢献していきたいと思います。

(定例会議実施回数:6 回)



【多田地区】

毎月第3火曜日に多田公民館にて、認知症カフェ「オレンジ多田」を開催しています。キャラバン・メイトが参加者さんに折り紙を教えたりしています。また、参加者さんのお話を伺い、内容によっては多田包括や関係機関につないでいます。

毎月第2・第4金曜日には多田公民館にて、講師の方が来られて、護身技法健康体操教室が開かれます。教室のはじめにキャラバン・メイトが脳トレゲームを行っています。R5/3/13には認知症行方不明者SOSネットワーク訓練を、馬場垣内公園にて行いました。



10/21には多田包括の方に来ていただき、「チームオレンジ」について説明を聞きました。認知症になっても、周りの支えがあったら自分らしく暮らすことができると、学びました。

(←オレンジ多田にフラダンスの方が来られた時の写真です)

【多田東地区】

例年通り、10/10に認知症行方不明者SOSネットワーク訓練を行いました。29名の参加がありました。認知症の方と話したことがない、困っておられるかどうか判断しにくい、等の感想があり、声かけは年1回の訓練だけでは難しい、何度も継続して訓練を受けたい、といった意見がありました。



コロナ禍前は、多田中学校の生徒さんに認知症サポーター養成講座を受けていただいていたのですが、この3年できていません。今年度は認知症啓発の冊子だけでも配って、来年度につなげていこうとしています。

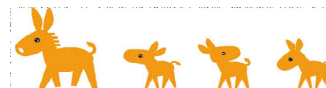
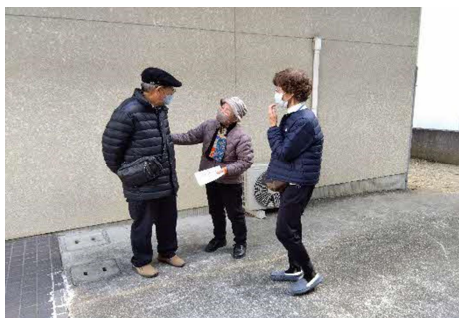
9/15には認知症専門部会を開催し、多田包括から「チームオレンジ」の考え方を説明していただきました。まず、福祉委員ひとりひとりが、ご近所から見守っていこうと話し合いました。

【緑台地区】

令和4年9月10日に「認知症サポーター養成講座」を開催。16名の方がオレンジリングを取得されました。

また、3年ぶりに12月4日「認知症行方不明者 SOS ネットワーク訓練」を実施。認知症の症状のほか、声掛けのポイントなどを学び、キャラバン・メイトが認知症当事者役を演じて訓練を行いました。

♥参加者からは「こういう講座をもっと開催してほしい」という意見もいただきました。



緑台地区では2か月ごとにキャラバン・メイト連絡会を開催し、これまでコロナ禍で縮小していた活動を振り返り、今後の展開について活発な意見交換を行っています。

認知症についての理解だけでなく、ご本人とともに過ごしやすい地域づくりを目指し、活動を継続していきます。

【清和台地区】

★認知症カフェ

令和4年度はひとやすみカフェ、和みカフェ共にコロナで閉鎖することなく続けることができました。顔馴染となっている方や新たに掲示物等を見て参加される方もいました。今後も地域の居場所となるカフェにしていきたいと思います。

★アルツハイマー月間

トナリエ清和台で、アルツハイマー月間のイベントとして、地域活動のパネル展示、おりがみ教室、ミニ講座を行い認知症についての啓発活動を実施しました。

★認知症サポーター養成講座

トナリエ清和台の従業員と地域住民、清和台小学校3年生、清和台自治会役員を対象に実施しました。小学校では講師であるキャラバン・メイトが先生と一緒に寸劇を行い、子供達に興味深く講座を聞いてもらうことができました。

★認知症サポーターのつどい

認知症サポーターを対象にグループワークや勉強会を実施しています。

★認知症行方不明者 SOS ネットワーク訓練

行方不明者が出た時配信の流れと、声かけの仕方を勉強しています。

【けやき坂地区】

★ももちゃんカフェ

令和4年度から新たに、メイクアップ講座、アロマ講座をももちゃんカフェの中で行いました。参加された方は講師の話を熱心に聞き、楽しみながら講座に参加しました。

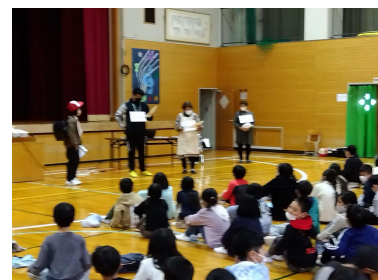


★認知症サポーター養成講座

認知症福祉部会、福祉委員、コミュニティ、けやき坂小学校を対象に実施しました。

コロナ禍で中止していた、けやき坂小学校3年生を対象とした認知症サポーター養成講座は3年振りに再開しました。

受講を終えた生徒からは、「認知症のことがわかった。みんなが助けあったら認知症になった人も安心してすごせることを学べた」といった声が聞くことができました。



★認知症行方不明者 SOS ネットワーク訓練

行方不明者を発見したと仮定した、声かけの仕方や対応方法の訓練を行いました。

【北陵小地区】



北陵小学校3年生の皆さんに、
「認知症を知ることを通じて、

人の気持ちを考えて行動できる人になる」
ことが、この講座の目当てです。

認知症は小学生にとって難しい内容だったか
もしれません。

でも一生懸命考え、発表してもらうことが
できました。

困っている人、悩んでいる人がいたら、
その人の気持ちがどうなのかを想像すれば、
どんな声をかけたら良いかが分かります。
簡単なようで、案外大人も難しいことなのかも
しれませんが、一番基本的な姿勢です。
相手の気持ちを想像できると、認知症の人に限ら
ず、誰でも助けることができるようになります。



【牧の台小地区】

新型コロナウイルス感染拡大期が長く続き、
思うように講座を開くことができませんでした。



キャラバンメイトさんと一緒に
ミニ研修を行いました。

認知症になっても本人らしさは失われ
ないということを、当事者のドキュ
メンタリー映像を通じて理解を深
めました。

来年度に向け、講座の目的や、内容、受講対象などを、
この機会に練り直し、来年度に向けて検討を繰り返しています。

資料編

1. 令和 4 年度認知症地域資源ネットワーク構築事業報告
2. 令和 3 年度地域別（小学校区・地区福祉委員会）
認知症高齢者の現状
3. 川西市認知症行方不明者 SOS ネットワークの流れ
4. 川西市認知症みまもり登録
5. 令和 3 年度認知症みまもり登録状況

令和4年度 認知症地域資源ネットワーク構築事業報告

項目	内容	令和4年度の実施時期、 具体的内容等	
認知症の 予防と 啓発	認知症予防に関する正しい知識や予防のための活動の普及	生活上の困難が生じた場合でも、重症化を予防しつつ、本人が希望をもって住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、介護予防教室「いきいき元気倶楽部」での認知症予防の取り組みや啓発活動を実施します。	新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に合わせて延期等はあるが、各地区で開催
	認知症ケアネットの普及	認知症の症状の段階に合わせた医療・介護サービスをまとめ、また川西市では地域全体で支えあえるネットワークづくりの視点を重視した「認知症ケアネット」の普及を、認知症地域支援推進員を中心に行います。	通年
	認知症の早期発見・早期対応	認知症チェックシートを特定健診の案内に同封し、自己チェックを促し、認知症の早期発見・早期対応のための受診勧奨を行います。	4.6.8月に総数22,731件を郵送
認知症 支援 体制の 充実	認知症地域支援推進員の配置	各地域包括支援センターに一人ずつ配置し、認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関との連携や、認知症の人やその家族を支援する相談等を行います。	市内8人配置
	認知症初期集中支援チーム	支援が必要な人の早期診断・早期治療や課題解決に向けて、認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員が連携し、支援を行います。	チーム会議：毎月開催 対応ケース：4件 訪問回数：延べ22回
	認知症サポーター養成講座	認知症の正しい知識の普及と認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、住民をはじめ、学校・事業所・団体・公的機関等を対象に開催します。	小・中学校、薬局、民間事業所、地域住民等の団体を対象に開催
	キャラバン・メイトフォローアップ研修	キャラバン・メイトを対象に、認知症サポーター養成講座の開催や地域での支援活動推進のための研修を行います。	開催なし
	チームオレンジ	認知症の人やその家族の支援ニーズと、認知症サポーターなどによる支援をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」について、認知症地域支援推進員とともに、立ち上げを目指します。	認知症地域支援推進員を中心に各地区でのチームオレンジの在り方の検討を継続 また、各地区キャラバン・メイトへ向けチームオレンジ説明会を実施
	認知症啓発活動	認知症への理解を深めるための啓発活動を実施します。	9月：アルツハイマー月間に合わせた啓発活動（市役所、中央図書館等） 広報かわにし9月号に特集を掲載「高齢者のあんしん生活」、認知症相談窓口啓発ポスター・リーフレットを作成し市内医療機関、薬局へ配布
	認知症カフェ・若年性認知症カフェ、家族の会への支援	認知症カフェの新規開設に要する費用の助成を行います。 また、認知症カフェが認知症の人やその家族、地域の住民、認知症サポーター、専門職等の誰もが気軽に参加できる「集いの場」となり、相談、相互交流、情報交換等を目的として自主的に運営される「活動拠点」となるように、認知症地域支援推進員が支援します。	助成申請：0件 認知症地域支援推進員が各カフェへ専門職として参加
	川西市認知症みまもり登録による日ごろの見守りと行方不明時の対応	地域包括支援センターが中心となり、登録されている認知症の人とその家族が安心して生活ができる日常の見守り体制を整えます。また、希望者へ、靴のステッカー10足を配布します。 万が一、登録者が行方不明になった場合は、より速やかに発見できるように、登録情報を活用し、各地区の認知症行方不明者SOSネットワークとの連携を行います。 さらに、「川西行方不明者SOSネット」により、24時間365日、行方不明情報を協力者の携帯電話やスマートフォンへ提供することで、早期発見を図ります。	随時
	認知症行方不明者SOSネットワーク	14小学校区ごとに、各地区の実情に合わせて構築された地域住民による発見協力体制のことで、行方不明者が出た場合に発見協力を行います。 また、行方不明者が出た際にネットワークが円滑に機能するよう、各地区でSOSネットワーク訓練を行います。	SOSネットワーク訓練：5地区
	認知症地域資源ネットワーク構築事業推進会議・報告会	認知症に関する支援関係者相互の情報共有を行い、認知症支援体制の充実のため、事業企画・推進状況を協議、報告します。	推進会議：書面開催予定 報告会：R5.3.15開催予定
連携ノート「つながりノート」連絡会	本人・家族、興味がある市民、医療・介護関係者が参加し、大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室および川西市医師会の協力のもと、高齢者の疾患等のミニレクチャー、「つながりノート」に関する意見交換や情報交換を行います。	奇数月開催（川西市・猪名川町在宅医療・介護連携支援センターと川西市中央地域包括支援センターとの共催）	
若年性認知症への対応	若年性認知症の相談等を通じ、本人・家族のニーズを把握し、若年性認知症の特性に合わせた支援やサービスのあり方について、認知症地域支援推進員とともに検討します。	随時	

令和5年2月28日現在

令和3年度 地域別(小学校区・地区福祉委員会)認知症高齢者の現状 1

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	久代小校区 久代小地区	加茂小校区 加茂小地区	川西小校区 川西小地区	桜が丘小 校区 桜小地区	川西北小 校区 北小地区
人口	155,517人	9,102人	10,847人	13,518人	8,632人	10,927人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,003人 (31.5%)	2,298人 (25.2%)	3,280人 (30.2%)	3,889人 (28.8%)	2,757人 (31.9%)	2,799人 (25.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	39,507人 (80.6%)	1,835人 (79.9%)	2,538人 (77.4%)	2,965人 (76.2%)	2,129人 (77.2%)	2,171人 (77.6%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	9,496人 (19.4%)	463人 (20.1%)	742人 (22.6%)	924人 (23.8%)	628人 (22.8%)	628人 (22.4%)
施設入所の要介護者	1,146人	57人	109人	111人	54人	61人
在宅の要支援・要介護認 定者	8,350人	406人	633人	813人	574人	567人
うち認知症自立	2,894人	122人	179人	269人	210人	203人
うち認知症Ⅰ	1,777人	92人	147人	199人	137人	132人
うち認知症Ⅱa	692人	43人	62人	67人	36人	48人
うち認知症Ⅱb	1,593人	76人	135人	153人	95人	105人
うち認知症Ⅲa	904人	45人	73人	81人	63人	53人
うち認知症Ⅲb	175人	11人	11人	14人	8人	13人
うち認知症Ⅳ	204人	12人	16人	18人	18人	5人
うち認知症M	26人	1人	3人	5人	2人	0人
うち自立度不明	85人	4人	7人	7人	5人	8人
在宅の要支援1	2,138人	88人	133人	201人	148人	149人
うちサービス利用者	973人	37人	72人	109人	74人	68人
うちサービス未利用者	1,165人	51人	61人	92人	74人	81人
在宅の要支援2	1,099人	42人	99人	118人	82人	73人
うちサービス利用者	619人	26人	59人	78人	46人	46人
うちサービス未利用者	480人	16人	40人	40人	36人	27人
在宅の要介護1	2,134人	119人	158人	205人	153人	133人
うちサービス利用者	1,348人	77人	100人	134人	94人	83人
うちサービス未利用者	786人	42人	58人	71人	59人	50人
在宅の要介護2	1,254人	75人	99人	141人	75人	98人
うちサービス利用者	839人	56人	64人	100人	60人	62人
うちサービス未利用者	415人	19人	35人	41人	15人	36人
在宅の要介護3	746人	29人	62人	60人	44人	53人
うちサービス利用者	474人	21人	40人	33人	28人	34人
うちサービス未利用者	272人	8人	22人	27人	16人	19人
在宅の要介護4	569人	25人	50人	45人	45人	38人
うちサービス利用者	311人	15人	28人	29人	32人	21人
うちサービス未利用者	258人	10人	22人	16人	13人	17人
在宅の要介護5	410人	28人	32人	43人	27人	23人
うちサービス利用者	210人	16人	14人	24人	10人	14人
うちサービス未利用者	200人	12人	18人	19人	17人	9人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり)	231人 (0.47人)	16人 (0.70人)	17人 (0.52人)	18人 (0.46人)	11人 (0.40人)	16人 (0.57人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.03人)	(0.04人)	(0.03人)	(0.02人)	(0.02人)	(0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり)	1,286人 (2.62人)	72人 (3.13人)	98人 (2.99人)	59人 (1.52人)	54人 (1.96人)	52人 (1.86人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.15人)	(0.18人)	(0.15人)	(0.07人)	(0.09人)	(0.09人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり)	202人 (0.41人)	16人 (0.70人)	18人 (0.55人)	9人 (0.23人)	6人 (0.22人)	8人 (0.29人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.02人)	(0.04人)	(0.03人)	(0.01人)	(0.01人)	(0.01人)
認知症サポーター(新規) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	820人 (0.10人)	13人 (0.03人)	0人 (0.00人)	20人 (0.02人)	28人 (0.05人)	18人 (0.03人)

※令和4年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

※65歳以上の要支援・要介護認定者の内訳は、介護認定認定調査票より抽出しています。

住所地特例の人は除いています。

令和3年度 地域別(小学校区・地区福祉委員会)認知症高齢者の現状 2

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	明峰小校区 明峰小地区	多田小校区 多田地区	多田東小 校区 多田東地区	緑台小・ 陽明小校区 グリーンハイツ 地区	清和台小・ 清和台南小 校区 清和台地区
人口	155,517人	14,813人	10,126人	12,816人	13,966人	12,366人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,003人 (31.5%)	4,863人 (32.8%)	2,884人 (28.5%)	3,672人 (28.7%)	5,746人 (41.1%)	4,679人 (37.8%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	39,507人 (80.6%)	4,039人 (83.1%)	2,383人 (82.6%)	3,063人 (83.4%)	4,512人 (78.5%)	3,892人 (83.2%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	9,496人 (19.4%)	824人 (16.9%)	501人 (17.4%)	609人 (16.6%)	1,234人 (21.5%)	787人 (16.8%)
施設入所の要介護者	1,146人	88人	80人	75人	148人	104人
在宅の要支援・要介護認 定者	8,350人	736人	421人	534人	1,086人	683人
うち認知症自立	2,894人	245人	154人	198人	388人	263人
うち認知症Ⅰ	1,777人	150人	72人	99人	227人	120人
うち認知症Ⅱa	692人	57人	45人	44人	97人	50人
うち認知症Ⅱb	1,593人	159人	74人	102人	189人	136人
うち認知症Ⅲa	904人	94人	45人	59人	125人	71人
うち認知症Ⅲb	175人	12人	9人	12人	22人	14人
うち認知症Ⅳ	204人	15人	13人	13人	26人	19人
うち認知症M	26人	3人	0人	3人	2人	0人
うち自立度不明	85人	1人	9人	4人	10人	10人
在宅の要支援1	2,138人	163人	99人	144人	324人	195人
うちサービス利用者	973人	73人	45人	63人	116人	91人
うちサービス未利用者	1,165人	90人	54人	81人	208人	104人
在宅の要支援2	1,099人	99人	57人	70人	136人	74人
うちサービス利用者	619人	56人	34人	43人	63人	39人
うちサービス未利用者	480人	43人	23人	27人	73人	35人
在宅の要介護1	2,134人	209人	116人	146人	250人	184人
うちサービス利用者	1,348人	131人	79人	101人	141人	110人
うちサービス未利用者	786人	78人	37人	45人	109人	74人
在宅の要介護2	1,254人	111人	70人	68人	163人	87人
うちサービス利用者	839人	77人	49人	50人	97人	62人
うちサービス未利用者	415人	34人	21人	18人	66人	25人
在宅の要介護3	746人	85人	31人	43人	87人	72人
うちサービス利用者	474人	61人	19人	26人	51人	51人
うちサービス未利用者	272人	24人	12人	17人	36人	21人
在宅の要介護4	569人	34人	35人	33人	79人	45人
うちサービス利用者	311人	11人	12人	19人	38人	33人
うちサービス未利用者	258人	23人	23人	14人	41人	12人
在宅の要介護5	410人	35人	13人	30人	47人	26人
うちサービス利用者	210人	22人	10人	14人	22人	11人
うちサービス未利用者	200人	13人	3人	16人	25人	15人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり)	231人 (0.47人)	22人 (0.45人)	11人 (0.38人)	18人 (0.49人)	23人 (0.40人)	19人 (0.41人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.03人)	(0.03人)	(0.03人)	(0.03人)	(0.02人)	(0.03人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり)	1,286人 (2.62人)	93人 (1.91人)	87人 (3.02人)	92人 (2.51人)	184人 (3.20人)	107人 (2.29人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.15人)	(0.13人)	(0.21人)	(0.17人)	(0.17人)	(0.16人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり)	202人 (0.41人)	9人 (0.19人)	18人 (0.62人)	21人 (0.57人)	16人 (0.28人)	30人 (0.64人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.02人)	(0.01人)	(0.04人)	(0.04人)	(0.01人)	(0.04人)
認知症サポーター(新規) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	820人 (0.10人)	345人 (0.47人)	0人 (0.00人)	4人 (0.01人)	46人 (0.04人)	49人 (0.07人)

※令和4年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

※65歳以上の要支援・要介護認定者の内訳は、介護認定認定調査票より抽出しています。

住所地特例の人は除いています。

令和3年度 地域別(小学校区・地区福祉委員会)認知症高齢者の現状 3

小学校区名 地区福祉委員会名	全 市	けやき坂小 校区 けやき坂小 地区	東谷小・ 黒川小校区 東谷地区	牧の台小 校区 大和地区	北陵小校区 北陵地区
人口	155,517人	6,696人	13,182人	10,842人	7,684人
65歳以上人口 (人口構成比)	49,003人 (31.5%)	1,594人 (23.8%)	3,900人 (29.6%)	4,395人 (40.5%)	2,247人 (29.2%)
65歳以上の要支援・要介護 認定を受けていない人 (65歳以上人口構成比)	39,507人 (80.6%)	1,324人 (83.1%)	3,221人 (82.6%)	3,497人 (79.6%)	1,938人 (86.2%)
65歳以上の要支援・要介護 認定者 (65歳以上人口構成比)	9,496人 (19.4%)	270人 (16.9%)	679人 (17.4%)	898人 (20.4%)	309人 (13.8%)
施設入所の要介護者	1,146人	26人	100人	90人	43人
在宅の要支援・要介護認 定者	8,350人	244人	579人	808人	266人
うち認知症自立	2,894人	86人	187人	295人	95人
うち認知症Ⅰ	1,777人	45人	130人	168人	59人
うち認知症Ⅱa	692人	20人	52人	54人	17人
うち認知症Ⅱb	1,593人	58人	119人	144人	48人
うち認知症Ⅲa	904人	23人	54人	91人	27人
うち認知症Ⅲb	175人	5人	14人	21人	9人
うち認知症Ⅳ	204人	2人	15人	26人	6人
うち認知症M	26人	1人	4人	2人	0人
うち自立度不明	85人	4人	4人	7人	5人
在宅の要支援1	2,138人	54人	134人	247人	59人
うちサービス利用者	973人	25人	56人	118人	26人
うちサービス未利用者	1,165人	29人	78人	129人	33人
在宅の要支援2	1,099人	37人	87人	96人	29人
うちサービス利用者	619人	24人	42人	50人	13人
うちサービス未利用者	480人	13人	45人	46人	16人
在宅の要介護1	2,134人	67人	144人	169人	81人
うちサービス利用者	1,348人	46人	99人	102人	51人
うちサービス未利用者	786人	21人	45人	67人	30人
在宅の要介護2	1,254人	35人	93人	112人	27人
うちサービス利用者	839人	21人	60人	65人	16人
うちサービス未利用者	415人	14人	33人	47人	11人
在宅の要介護3	746人	23人	51人	71人	35人
うちサービス利用者	474人	11人	35人	39人	25人
うちサービス未利用者	272人	12人	16人	32人	10人
在宅の要介護4	569人	18人	33人	70人	19人
うちサービス利用者	311人	12人	16人	36人	9人
うちサービス未利用者	258人	6人	17人	34人	10人
在宅の要介護5	410人	10人	37人	43人	16人
うちサービス利用者	210人	6人	16人	21人	10人
うちサービス未利用者	200人	4人	21人	22人	6人
民生児童委員 (65歳以上の人100人当たり)	231人 (0.47人)	9人 (0.56人)	25人 (0.64人)	15人 (0.34人)	11人 (0.49人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.03人)	(0.04人)	(0.04人)	(0.02人)	(0.04人)
地区福祉委員会 (65歳以上の人100人当たり)	1,286人 (2.62人)	53人 (3.32人)	89人 (2.28人)	130人 (2.96人)	116人 (5.16人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.15人)	(0.22人)	(0.15人)	(0.16人)	(0.44人)
キャラバンメイト活動者数 (65歳以上の人100人当たり)	202人 (0.41人)	24人 (1.51人)	5人 (0.13人)	11人 (0.25人)	11人 (0.49人)
(在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	(0.02人)	(0.10人)	(0.01人)	(0.01人)	(0.04人)
認知症サポーター(新規) (在宅の認知症Ⅰ以上の人1人当たり)	820人 (0.10人)	0人 (0.00人)	279人 (0.48人)	0人 (0.00人)	18人 (0.07人)

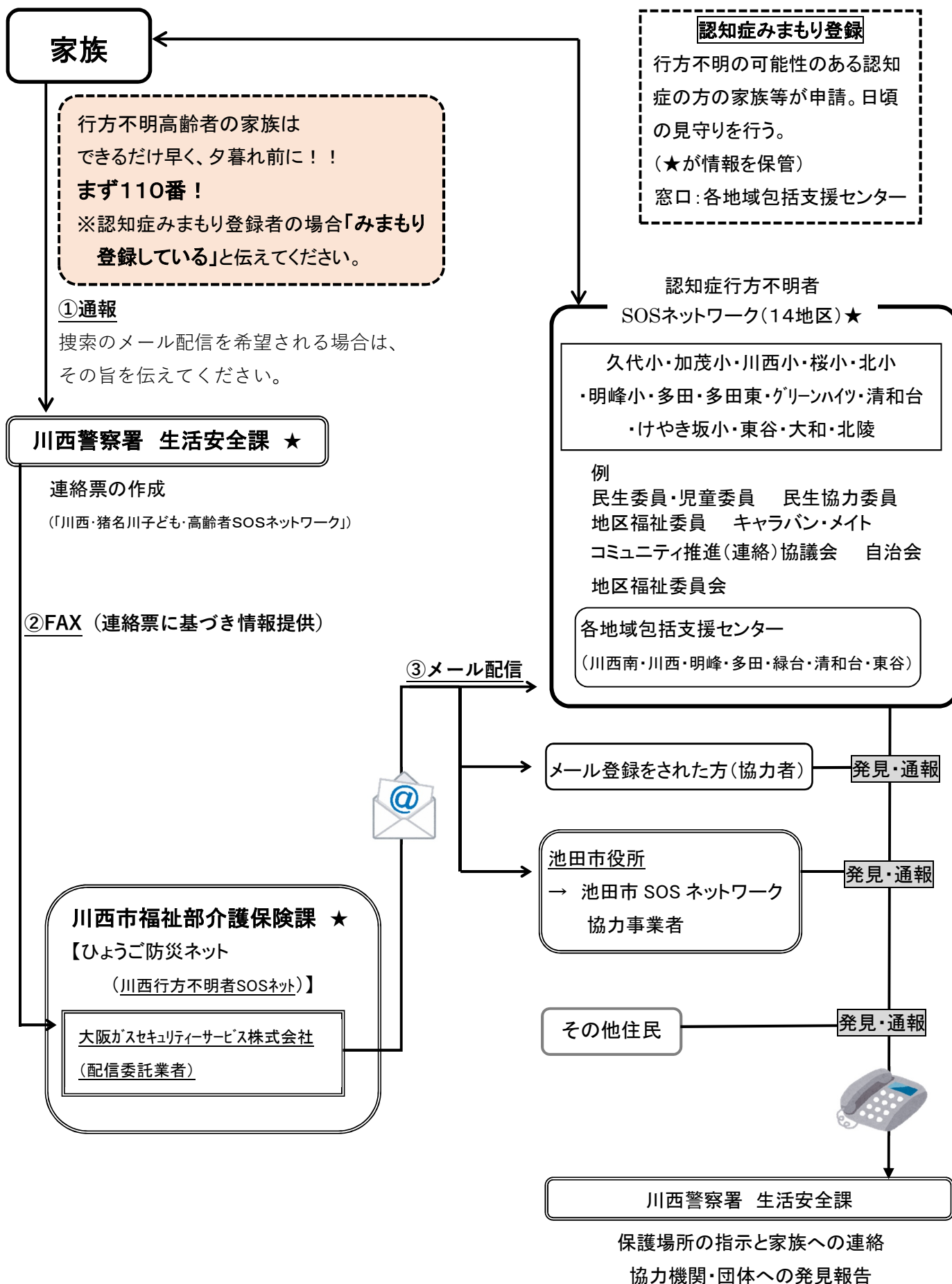
※令和4年3月31日現在

※小学校区と地区福祉委員会の名称は必ずしも一致しません。

※65歳以上の要支援・要介護認定者の内訳は、介護認定調査票より抽出しています。

住所地特例の人は除いています。

川西市認知症行方不明者SOSネットワークの流れ 令和4年4月1日



川西市認知症みまもり登録

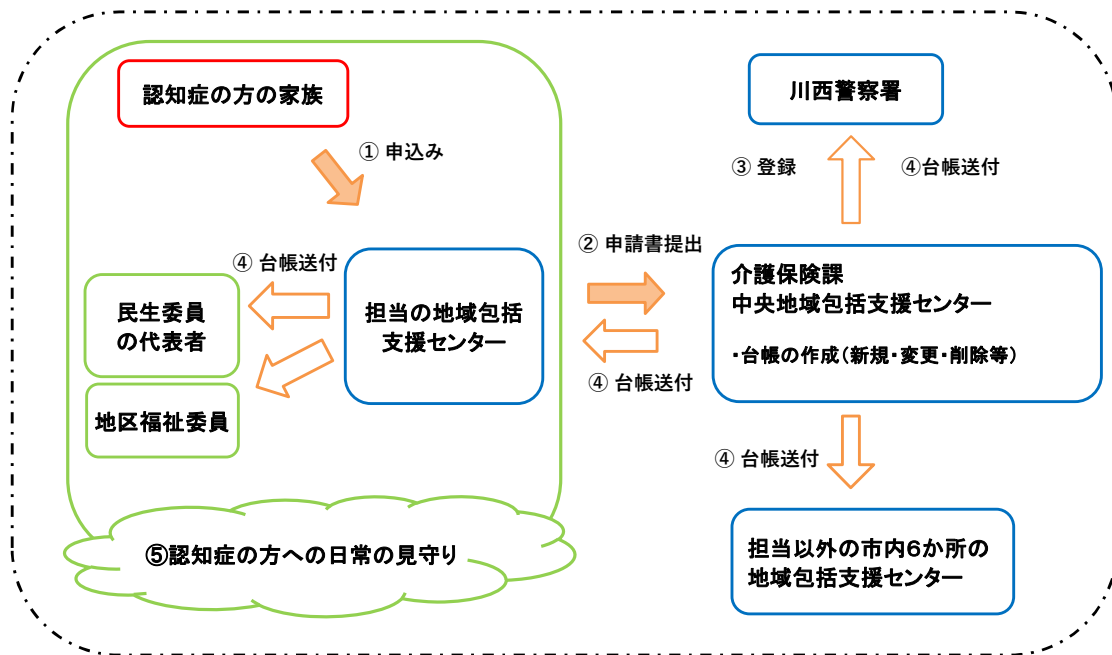
川西市認知症みまもり登録は、認知症により行方不明になる可能性のある方が

①住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、お住まいの地域の協力のもと、日々の見守りをします。

②万が一、ご本人が行方不明になられた場合は、お住まいの地区(概ね小学校区単位)の民生委員や地区福祉委員、キャラバンメイト代表等で構成される【川西市認知症行方不明者SOSネットワーク】が川西警察署と連携し、早期発見につなげられるように支援するものです。

「まだ近所の方には言いたくない」という方は、万が一の時だけの申込も可能です。

川西市認知症みまもり登録の関係図



万が一、行方不明になってしまったら…

できるだけ早く110番を！！

川西警察署に「捜索願い」を提出してください。

川西市認知症行方不明者SOSネットワークが警察と連携し捜索します。

令和3年度 認知症みまもり登録状況

単位：人

小学校区	実登録者数		※（別掲） 令和3年度 新規登録者数
		（再掲） 見守り希望者数	
久代	10	7	1
加茂	23	20	5
川西	19	18	4
桜が丘	15	12	2
川西北	22	15	4
明峰	17	12	6
多田	18	16	0
多田東	21	16	1
緑台・陽明	16	7	5
清和台	11	6	0
けやき坂	2	2	0
東谷・黒川	17	10	0
牧の台	17	11	4
北陵	6	2	1
合計	214	154	33

令和4年3月31日現在